

# 四国圏広域地方計画

## 中間整理(案)の概要

平成20年11月

第2回四国圏広域地方計画学識者会議 資料

# 四国圏の特徴と課題

社会の潮流

人口減少・高齢化の急速な進行  
産業技術の高度化・情報化の進展  
広域交流の拡大・グローバル化の進展  
「新たな公」の役割の重視

災害・環境問題等の安全に対するリスク・不安の増大  
産業・雇用構造の変化と地域間競争の激化  
価値観・ライフスタイルの多様化と心の豊かさの重視

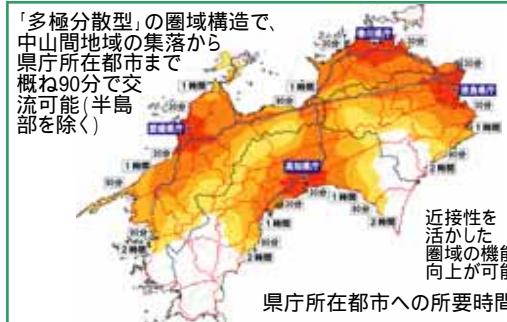
## 四国の特徴

### ◆ 強み

美しい自然風景、独自の歴史・文化の存在



多様な地域の存在と相互の地理的近接性を活かした交流の可能性



確かな力ある産業の存在

主に瀬戸内海側に産業が集積し、世界一・日本一のシェアを誇る企業も多数立地



人材育成活動の活発化

個性のある一次産業、食等の存在



### ◆ 弱み

厳しい地勢・自然条件

社会経済面・生活利便性面の格差とインフラ整備の遅れ

高速道路網の整備の遅れにより、他圏域との格差が発生  
高速道路網等の整備状況



産業集積・企業集積の不十分さ

四国圏内外との連携・交流の弱さ

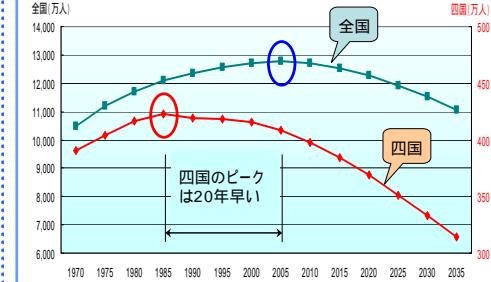
圏域の旅客流動は、四国外との交流よりも県間流動が少ない  
圏域内の旅客流動



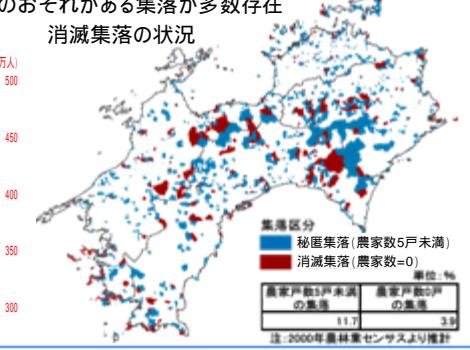
人口減少による国土の荒廃・喪失

人口減少の急速な進行(全国より20年早い)、消滅のおそれがある集落が多数存在

人口減少の推移



消滅集落の状況



## 四国の課題

災害や環境に対する安全・安心の確保  
豊富な地域資源の活用と魅力の創出  
中山間地域、半島及び島しょ部等の活性化と都市における活力の向上

外部環境変化に対応した産業活性化の展開  
圏域内外における結びつきの強化

地域の強みを活かし、圏域全体の連携によって自立的に発展する

### 「癒やしと輝きのくに」 四国の創造

#### 癒やしのくに

心の豊かさを求める時代の要請に応え、四国圏独自の「癒やし」の魅力を伸張させ、四国の住みやすさを高めつつ、訪れる人を増やし、地域力を向上させる！

#### 輝きのくに

特色ある企業や産業集積、全国的に認知度の高い食品・食材など地域資源を活かしつつ、絶え間ざるイノベーションにより経済活力を高める！

#### 取り組みに向けた考え方

安全・安心と経済活力を支える環境づくり

主体的取り組みに基づく、独自性、個性を活かした地域づくり

「担い手となる人材の育成」  
「地域資源の活用」  
「『新たな公』の構築」



圏域内の適切な役割分担と戦略的連携による新しい四国の価値を創出



全国、世界との交流連携を深めることにより、さらなる活力を創出

#### 四国圏の発展に向けた目標

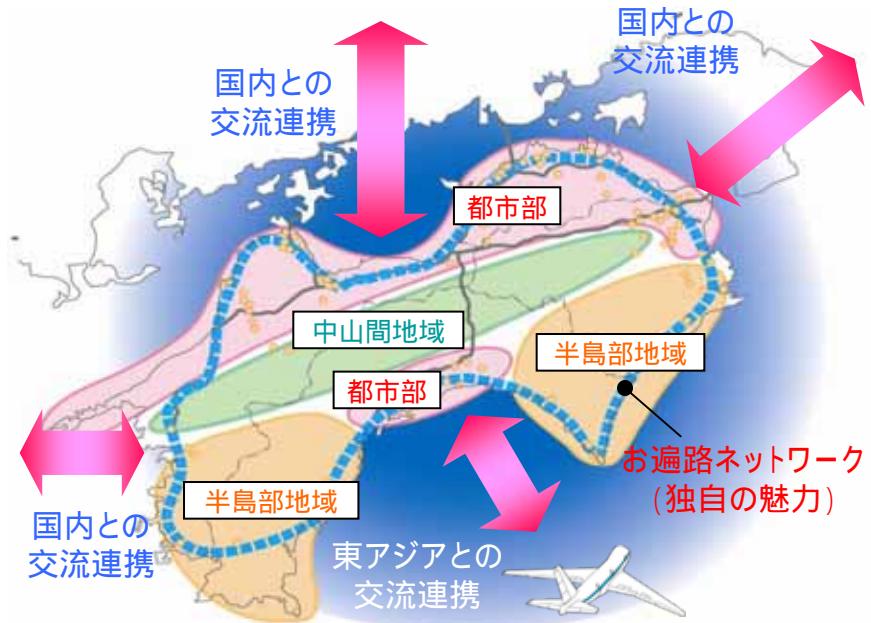
安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国

地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国

東アジアをはじめ、広域的に交流を深める四国

中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国



## 発展に向けた目標

<安全・安心>  
災害に強い地域をつくる

<自然保全・環境>  
自然・地球環境との調和を高める

<暮らし>  
地域の暮らしの快適性を高める

## 戦略的取組

### 災害に強い地域

#### 1 東南海・南海地震等大規模災害発生時に

- おける被害の抑制と迅速な復旧
- ・水害や土砂災害の頻発箇所における対策の推進
- ・建築物や構造物の耐震性強化、密集市街地の改善
- ・大規模災害発生時における迅速な復旧と事業継続



#### 2 災害時の交通・情報通信ネットワーク強化

- ・災害に備えたネットワークの強化
- ・災害情報の収集・共有体制の構築



#### 3 減災に向けた地域との相互連携と住民一人一人の防災に対する意識の向上

- ・安否確認や助け合いなど自主防災活動の促進
- ・避難路や避難場所の確保と防災意識の向上
- ・防災情報の共有



#### 4 広域的な応援体制の構築

- ・広域的な応援体制の強化

### 暮らしの快適性

#### 1 安全・安心で快適な生活環境づくり

- ・高齢者に配慮した快適な住環境整備
- ・社会基盤の効率的・効果的な整備
- ・安全・安心な交通環境の形成
- ・犯罪のない地域づくりの推進
- ・医療・福祉等サービス体制の整備と子育て等の支援の充実
- ・食の安全と消費者の信頼の確保に関する対策の推進



### 自然・地球環境との調和

#### 1 失われつつある自然との共生

- ・自然の再生と保全
- ・豊かで美しい瀬戸内海等の環境保全・再生
- ・交流活動や地域緑化運動の拠点づくり



#### 2 森林、農地、河川流域の適切な整備・保全と水資源の確保

- ・森林や農地の適切な整備と保全
- ・渇水に強い地域づくり
- ・流域圏での環境や資源の保全・再生の推進



#### 3 人間活動と自然のプロセスが調和した物質循環の構築

- ・循環型社会の形成
- ・地球温暖化防止の推進
- ・大気・土壤対策等の推進

#### 4 自然と地球にやさしい環境保全活動・環境教育の推進

### 広域プロジェクト（案）

- 「強い四国」災害対策プロジェクト
- 「緑の島四国」の環境を守る美しい森林づくりプロジェクト
- 清流とうるおいの水資源プロジェクト
- 「瀬戸内フィールドミュージアム」形成プロジェクト
- 「循環・共生型四国圏」創生プロジェクト
- 地域医療・子育て支援プロジェクト

## 発展に向けた目標

### <産業の活性化>

絶え間ないイノベーションにより世界に通用する産業を育てる

### <産業集積>

多元的成長力を持つ産業集積を高める

## 戦略的取組

### 世界に通用する産業

#### 1 イノベーション活動を牽引するコア企業の創出

- ・産業支援機能の充実と連携強化
- ・企業のイノベーション活動への支援

#### 2 圏域内外の連携による新たな事業展開の推進

- ・既存の産業集積を越えた産業ネットワーク・クラスターの形成
- ・地域産業の課題への対応、連携による支援機能の強化
- ・圏域内外との企業間連携の促進



青色LED

#### 3 地域の協働による産業人材の確保・育成

- ・柔軟な人材を育成する仕組みの形成
- ・産業界や地域の教育機関等と連携した人材育成
- ・東アジア等との交流によるグローバルな人材育成

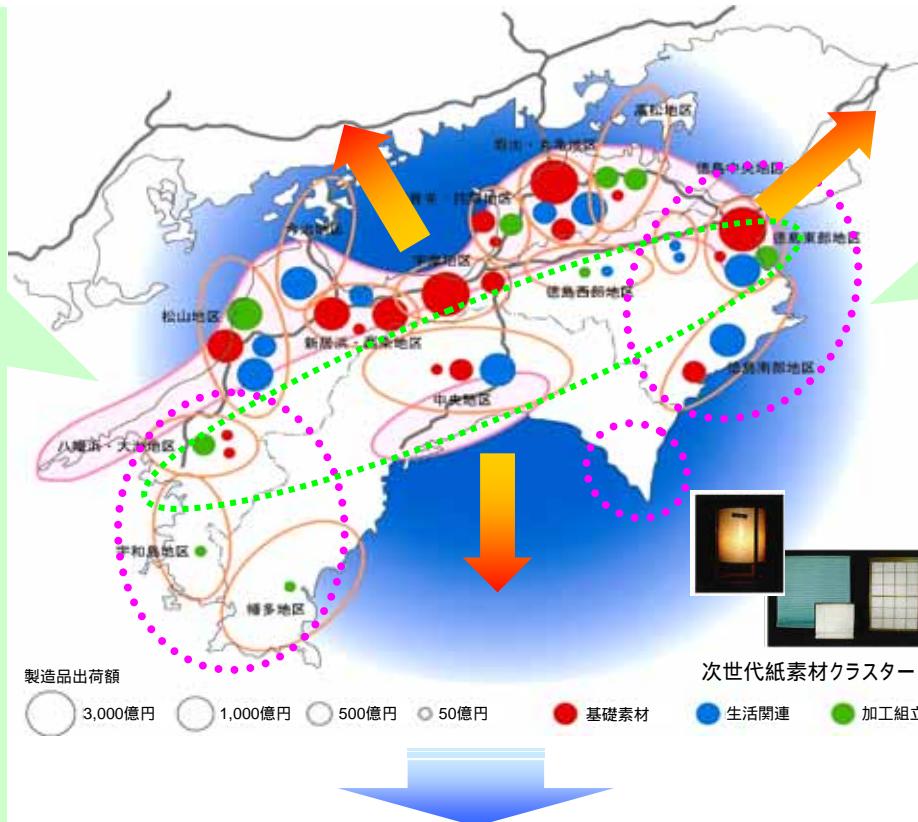
##### 産・学・官の連携



4

4

#### 4 知的財産戦略の構築



### 広域プロジェクト(案)

新たな事業展開を促進する産業ネットワーク形成・人材育成プロジェクト  
「四国の食」を核とした農林水産業活性化プロジェクト

### 多元的成長力を持つ産業集積

#### 1 異業種との連携等による新たな展開

- ・業種間交流と異業種への進出支援
- ・中小企業の生産性向上・潜在力の発揮
- ・コミュニティ・ビジネスの創出
- ・医療・福祉関連産業の創出

#### 2 農林水産業の競争力の強化

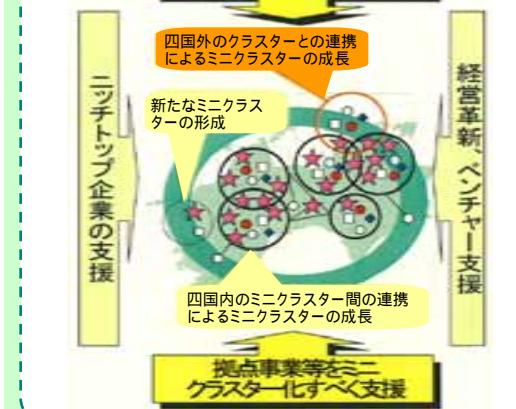
- ・一次産品を用いた四国ブランドの育成
- ・食の安全性を踏まえた付加価値化
- ・需要拡大による林業・木材産業の再生
- ・漁場環境を活かした水産業の活性化

#### 3 地域の特性・強みを活かした企業立地環境の整備

- ・国際的な競争力・技術力を持った企業誘致等の支援
- ・四国圏に立地するメリットの充実

##### クラスター展開(四国内連携)のイメージ

他地域からの参画、資源供給などを支援



発展に向けた目標

<地域の魅力創出>

美しい風土を形成し、地域の魅力を高める

<個性ある地域づくり>

歴史・文化的資源を継承し地域の独自性を発揮する

戦略的取組

美しい風土（地域の魅力）

1 美しい自然を舞台とした地域独自の風景づくり

- 美しい森林や棚田等の良好な田園景観の保全
- 自然の姿を残す河川や海岸線の保全



2 美しい自然・景観の保全と次世代への継承

- 地域を自然保全活動のフィールドとする人材育成及び受入れ体制の整備
- 自然保全に関する高齢者の知恵と経験を次世代へ伝える仕組みづくり

歴史・文化的資源（地域の独自性）

1 地域の歴史・文化の継承

- 四国独自の文化を保全・継承するための人材育成
- 遍路文化の伝承及び地域独自の伝統・文化を保全・継承する仕組みづくり

- お遍路ネットワーク
- 文化・美術ネットワーク
- みづべ八十八カ所ネットワーク
- ネットワーク間の連携



広域プロジェクト(案)

- 「瀬戸内フィールドミュージアム」形成プロジェクト
- 「四国霊場八十八箇所と遍路文化」を核とした地域振興プロジェクト
- 「黒潮洗う四国・南海」輝きプロジェクト

2 四国遍路をはじめ歴史・文化を活かした新たな魅力の創造

- 歴史文化を活かした個性ある地域づくり
- 芸術の宝庫としての新たな価値の発見及び観光資源の創出
- 地域密着型プロスポーツの振興

## 発展に向けた目標

## &lt;広域的交流の促進&gt;

東アジア・世界との交流を活性化する  
環瀬戸内海や全国との交流を活性化する

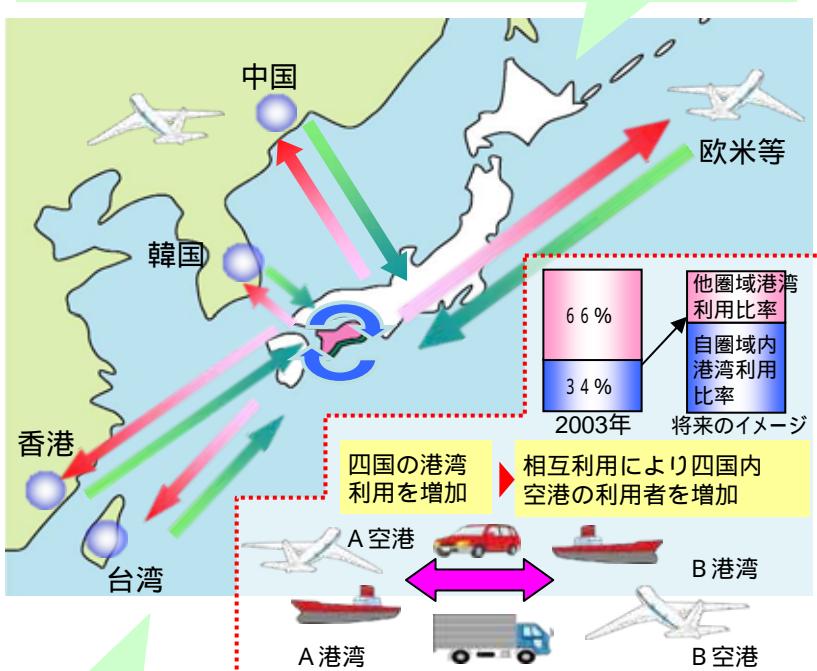
圏域内の交流を活性化する

## 戦略的取組

## 東アジア・世界との交流

## 1 国際ゲートウェイ機能の強化

- ・東アジアや世界を結ぶ効率的な国際交通ネットワークの形成
- ・港湾・空港間連携の推進



## 2 戦略的な情報発信・PRの強化

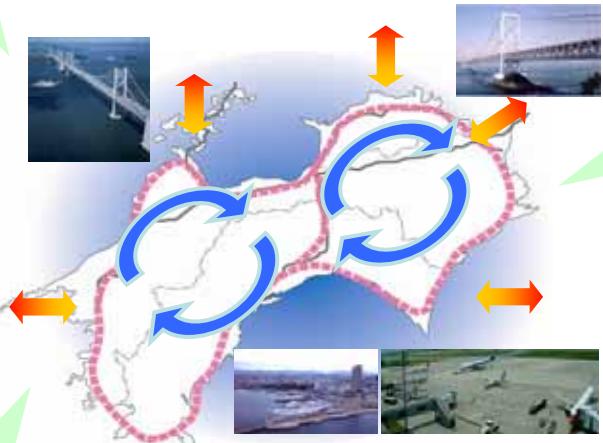
- ・地域資源活用の支援体制の充実
- ・地域資源の戦略的情報発信とPR
- ・国際的なコミュニケーション能力を備えた人材の確保・育成



## 環瀬戸内海や全国との交流

## 1 交流を支える四国圏外とのネットワークの強化

- ・本四3架橋の有効利用等による圏外との交流・連携促進
- ・圏外との交流を支える港湾・空港機能の強化

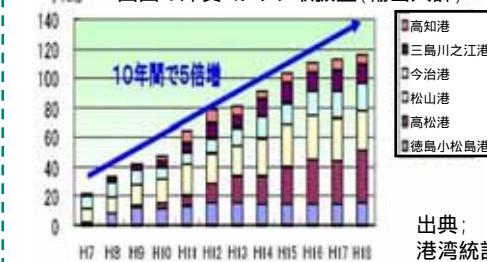


## 2 四国圏の地域資源等の魅力の全国への発信

- ・交流を担う人材の育成、戦略的情報発信
- ・四国圏へのUJIターンや複数地域居住等の促進

## &lt;東アジア・世界との経済交流の状況&gt;

## 四国の外貿コンテナ取扱量(輸出入計)



## 圏域内の交流

## 1 各都市の魅力向上と相互連携の強化

- ・産業・文化活動等における都市間相互の結びつき強化
- ・既存高速交通ネットワーク等の利用促進、整備



## 2 都市と中山間地域等との交流促進

- ・複数地域居住等を促す体制づくり
- ・環境保全等のための川を介した上下流域住民の交流促進

## 広域プロジェクト(案)

東アジアへのゲートウェイ機能の拡大・強化プロジェクト  
「四国はひとつ」圏域内外交流・連携プロジェクト

## 発展に向けた目標

&lt;相互補完の関係による共生&gt;

農山漁村（中山間地域等）の暮らしと環境を支える

都市の魅力・快適性を高める

## 戦略的取組

## 農山漁村（中山間地域等）の暮らしと環境

## 1 安心で暮らしやすい農山漁村の形成（日常生活の利便性向上）

- ・安全・安心できるサービス機能や生活基盤の確保
- ・移動手段の確保、公共交通サービスの維持
- ・高度情報通信基盤の整備推進

## 3 地域の魅力向上と都市との交流

- ・スローライフの促進
- ・創意工夫による住環境、福祉、教育環境の整備
- ・美しい風景や自然環境保全の仕組みづくり
- ・農林水産業とふれあう機会の拡大

都市の住民は、精神のリフレッシュ、自然とのふれあいを求めて農山漁村へ

## 2 農林水産業の再生

- ・農林水産業の担い手育成
- ・地域資源を活かした関連産業の育成
- ・鳥獣被害対策の実施

## 半島部・島しょ部

農山漁村の住民は、医療や買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスを求めて都市部へ



## 広域プロジェクト（案）

- 「黒潮洗う四国・南海」輝きプロジェクト
- 中山間地域等活性化プロジェクト
- 四国圏における都市機能の強化・集約化プロジェクト

## 1 集約型都市構造の実現と都市機能の充実

- ・都市機能の集積を活かした中心市街地の活性化



- ・誰もが生活しやすい都市空間の形成



## 目 標

安全・安心を基盤に、快適な暮らしを実感できる四国  
～心穏やかに暮らせるやすらぎの実現～

地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国  
～グローバル化を生き抜く産業群の形成～

歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、  
人をひきつける四国  
～おもてなしの心あふれた癒やしの実現～

東アジアをはじめ、広域的に交流を深める四国  
～進取の息吹きを与える交流の創出～

中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活  
力あふれる四国  
～農山漁村と都市の共生～

## 広域プロジェクト

- No.1 「強い四国」災害対策プロジェクト
- No.2 「緑の島四国」の環境を守る美しい森林づくりプロジェクト
- No.3 清流とうるおいの水資源プロジェクト
- No.4 「瀬戸内フィールドミュージアム」形成プロジェクト
- No.5 「循環・共生型四国圏」創生プロジェクト
- No.6 地域医療・子育て支援プロジェクト
- No.7 新たな事業展開を促進する産業ネットワーク形成・人材  
育成プロジェクト
- No.8 「四国の食」を核とした農林水産業活性化プロジェクト
- No.9 「四国霊場八十八箇所と遍路文化」を核とした地域振興  
プロジェクト
- No.10 「黒潮洗う四国・南海」輝きプロジェクト
- No.11 東アジアへのゲートウェイ機能の拡大・強化プロジェクト
- No.12 「四国はひとつ」圏域内外交流・連携プロジェクト
- No.13 中山間地域等活性化プロジェクト
- No.14 四国における都市機能の強化・集約化プロジェクト

目標；安全・安心を基盤に快適な暮らしを実感できる四国／災害に強い地域をつくる

## 〔プロジェクトの目的・コンセプト〕

## 安全・安心に暮らせる災害に強い圏域の形成

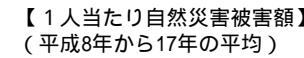
近い将来予想される東南海・南海地震から住民の生命や財産を守るとともに、例年繰り返される台風・豪雨による水害や土砂災害等の解消に努め、安全・安心に暮らせる災害に強い圏域の形成を目指す。

## 圈域全体の被害の極小化

震災時に**救護・避難活動の途絶を生じさせない**よう、陸上、海上輸送機能の強化等を図るとともに、地震の発生時における一次災害の抑止、体制整備、広域的情報の共有及び施策の連携・調整を行うことにより、**圏域全体の被害の極小化**を図る。

## 災害に強い社会資本整備と減災に向けたソフト対策

急峻な地形条件と脆弱な地質構造に配慮し、災害に強い社会資本整備を推進するとともに、減災に向けた自治体・地域等の相互連携による体制づくりなどのソフト対策を進めます。



	(単位:円)
高知県(1位)	40,217
徳島県(11位)	13,350
愛媛県(13位)	10,723
香川県(31位)	5,118
四国全体	15,602
全国	5,603

全国平均  
の約7.2倍

自然災害の多発  
により被害額は  
全国でも高レベル



## H16.10台風23号 の浸水状況 (徳島県美馬市)



## H17.9台風14号による がけ崩れの状況 (高知県大豊町)

### 目的を達成するための取組(検討中)

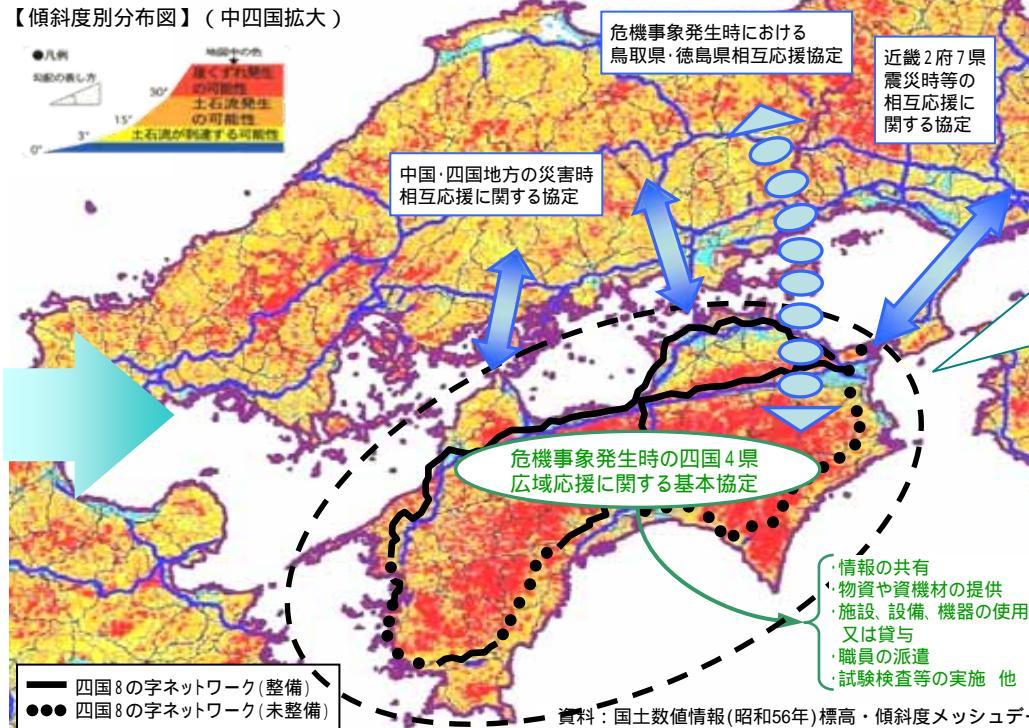
## 広域的な相互救援活動を円滑にする連携体制の整備

「四国東南海・南海地震対策連絡調整会議」を設置し、広域的な支援、地震・津波対策をより計画的かつ効果的に推進



大規模災害時の広域防災体制として、四国圏と他圏域との協定や、連携による広域防災情報システムを構築

## 大規模災害発生時の広域応援として、4県の連携による防災用資機材の共同整備



## 地震災害や台風・豪雨災害等による被害の軽減に向けたインフラ整備と防災施設整備

## 津波や高潮の被害想定箇所における海岸堤防対策の実施



## 災害発生時の円滑な活動に備えた 緊急輸送機能の確保

## 自主的な防災組織の確立に向けた住民の防災意識の向上

大規模災害時の応援体制として、県、自治体とコンビニなどの民間事業者等による帰宅困難者支援協定を締結



## 被害想定箇所におけるハザードマップの整備・普及



# No.3 清流とうるおいの水資源プロジェクト

目標：安全・安心を基盤に快適な暮らしを実感できる四国／自然・地球環境との調和を高める

## プロジェクトの目的・コンセプト

### 清流の継承による魅力ある四国圏の形成

吉野川や四万十川等をはじめとする、全国に誇る自然環境や景観を有する河川に対する水質、生物、風景などの自然環境の保全と、失われつつある自然環境の再生への取り組みにより、清流を次世代に継承するとともに、魅力ある四国圏を形成する。

### 安全安心な水利用社会の実現

慢性的に発生する水不足に対し、安定した水資源の確保及び節水や水循環の促進を図ることにより、水資源が安定供給される安全安心な水利用社会を目指す。

四県連携して、四国の水問題を解決



四国の観光地で  
3位の認知度を誇る  
四万十川



全国に誇る  
四国の河川

【1987～2006年(20年間)において渇水被害が発生した年数】

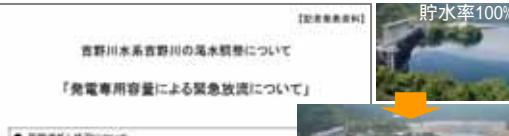


資料：日本の水資源

## 目的を達成するための取組(検討中)

### 新たな水資源の確保と水資源の有効利用

吉野川水系水利用連絡協議会による取水制限等の調整や、四国水問題研究会による水資源の有効利用と治水・利水・環境の合理的な恒久的対策及び実施方策の検討



渇水問題の解消のため、事業所や各家庭における節水対策や下水再生水、雨水等の活用・再利用を進める



# No.4 「瀬戸内フィールドミュージアム」形成プロジェクト

目標： 安全・安心を基盤に快適な暮らしを実感できる四国／自然・地球環境との調和を高める

歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国／歴史・文化的資源を継承し地域の独自性を発揮する

## プロジェクトの目的・コンセプト

### 瀬戸内フィールドミュージアムの形成・情報発信

瀬戸内海を人々が訪れたいたい魅力ある地域とするため、環境の保全、美しい島々の景観の保全を行うとともに、瀬戸内の島々に点在する多様な歴史・文化遺産、美術館・博物館等の魅力をさらに高め、瀬戸内海及びその周辺を「瀬戸内フィールドミュージアム」として形成、情報を発信していく。

### 瀬戸内海の環境保全

地域住民、NPO、行政、企業等各主体協働（新たなる公）の圏域を越えた連携により瀬戸内海の環境保全等に努めるとともに、海洋への廃棄物不法投棄防止等の海ごみ対策の強化等を進める。

### 瀬戸内海一帯の活性化

瀬戸内の島々や周辺地域の歴史・文化に触れ親しむ歴史文化道のルートの整備や海洋レジャーなどの施設整備等により、体験型観光の資源を活用した広域観光の連携に向けた取り組みを進め、瀬戸内海一帯の活性化を目指す。



### 瀬戸内海沿岸の主要観光地入込状況

施設名	単位	18年度	19年度
香川県 玉藻公園	人	132,699	130,901
香川県 香川県立ミュージアム	人	100,075	72,481
香川県 瀬戸内海歴史民俗資料館	人	11,452	9,667
香川県 四国民家博物館	人	48,139	49,669
香川県 二十四の瞳映画村	人	216,094	217,915
香川県 寒露渓ローブウェイ	人	256,000	273,000
香川県 瀬戸大橋記念館	人	75,468	82,760
香川県 琴平の入込客数	人	2,975,000	3,202,000
香川県 中津万象園（有料入園者のみ）	人	42,438	36,116
愛媛県 しまなみ海道レンタサイクル	人	21,875	23,628
愛媛県 村上三島記念館	人	4,085	4,297
愛媛県 大三島美術館	人	8,538	8,710
愛媛県 村上水軍博物館	人	45,948	48,492
参考) 香川県 地中美術館（直島）	人	92,113	120,815

「平成19年度四国的主要観光地入込状況について」(H20.7.16 四国運輸局)を基に加工

## 目的を達成するための取組(検討中)

### 多様な主体の連携による瀬戸内海の環境保全・活用・回復

瀬戸内海を取り巻く圏域を越えた連携を促進するために、住民、NPO、行政、企業等の情報発信を通じたネットワーク化を進める



多様な主体による陸地や海面でのごみの回収・処理を実施



リフレッシュ瀬戸内によるごみ回収活動

### 瀬戸内広域観光の形成と世界に向けた情報発信

「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」などにより観光情報等を発信



「瀬戸内アートネットワーク推進協議会」によりスタンプラリーや入館料割引等によって美術館の連携を進める



ベネッセアートサイト直島（地中美術館等）



高松市美術館 香川県立ミュージアム



金刀比羅宮

### クルーズ観光、広域観光の振興・国際観光の推進



クルーズのイメージ

1日目  
2日目  
3日目

広域観光モデルコース



資料：日本観光協会（全国旅そだん）

美しい白砂青松を守り、回復のために養浜等の取り組みを実施



津田の松原



目標：安全・安心を基盤に快適な暮らしを実感できる四国／地域の暮らしの快適性を高める

### プロジェクトの目的・コンセプト

#### 交通条件や地理的条件等に恵まれない地域への医療支援

交通条件や地理的条件等に恵まれない地域において、地域医療を支えるために医療従事者の確保に努めるとともに、遠隔医療のための情報通信技術環境の整備を推進する。

#### 福祉サービス享受のための交通利便性の確保

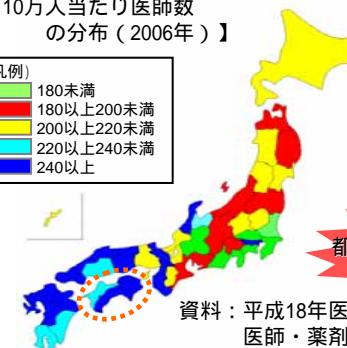
救急搬送体制や通院、デイサービスなどの福祉サービスが享受できるよう交通利便性の確保に努めるとともに、都市とこのような地域を結ぶ交通ネットワークの整備を図る。

#### 子育てを支援する各種施策の実施

地域子育て支援センターの取組をはじめ子育てを支援するための各種支援施策を実施する。

【人口10万人当たり医師数の分布（2006年）】

(凡例)	180未満	180以上200未満	200以上220未満	220以上240未満	240以上
■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■
■	■	■	■	■	■



資料：平成18年医師・歯科医師・薬剤師調査

【二次医療圏別人口10万人当たり医師数(2004年)】



資料：平成19年版厚生労働白書

### 目的を達成するための取組(検討中)

#### 身近な地域での医療体制の確保

地域医療を支える医療従事者を確保するため、4県連携でドクターブール制度や医師の派遣制度等を検討

島しょ部の医療サービスを確保するため、海上運航による巡回医療体制の強化

地域医療を補うための対応として、情報通信技術を活用した遠隔医療体制の構築

高齢化の進行に配慮し、通院手段としての地域バス路線の維持、福祉タクシーの導入・活用

#### 緊急時の医療体制の確保

緊急時の搬送体制を確保するため、4県の連携による消防・防災ヘリを活用した広域救急医療体制を整備

緊急時の搬送圏域の拡大を図るため、中山間地域から三次医療施設へのアクセスを強化

【四国の三次医療施設の分布と各施設からの所要時間圏域】



島しょ部地域

巡回運行

巡回運行

巡回運行

巡回運行

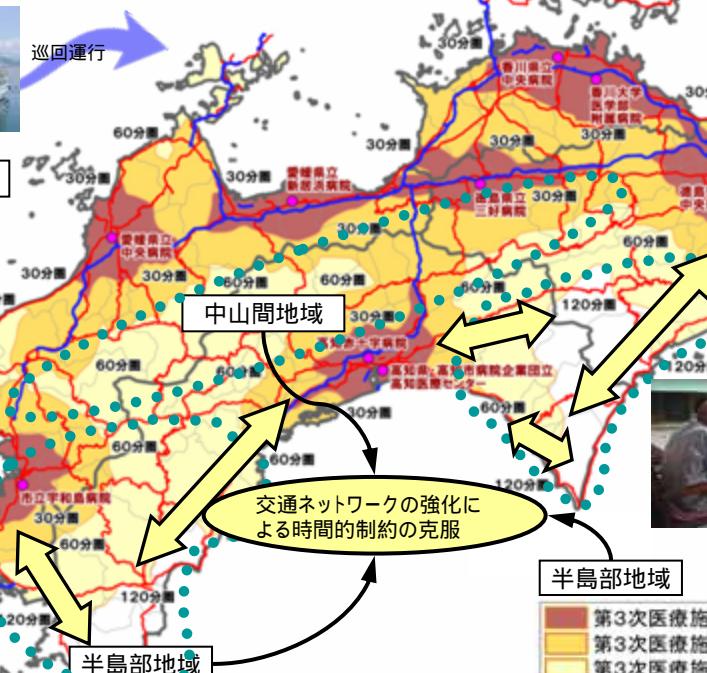
巡回運行

巡回運行

巡回運行

巡回運行

巡回運行



#### 次世代を担う子育て支援

圏域全域で、子育て支援人材として、高齢者や子育て経験者等の参画、子育てボランティアの養成に取り組む



子育てタクシー (全国子育てタクシー協会)

子育て家庭応援策として、4県の連携による割引特典の相互提供等の取り組みを実施

#### 子育て家庭にやさしい四国



資料：各県保険福祉連絡部局  
(子育て家庭応援事業四国協議会)

目標：地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国／絶え間ないイノベーションにより世界に通用する産業を育てる

## プロジェクトの目的・コンセプト

### 産業ネットワーク・クラスターの形成

四国圏には、世界的シェアを有する先端素材産業や地域ごとに特徴を有する多様な産業集積があり、産業連携の面的な広がりを目指して、産学官連携の推進や、産業支援機関の連携、圏域外の機関との連携により、産業集積・技術シーズを活かした産業ネットワーク・クラスターを形成する。

### 産業を支える人材の確保・育成

圏域内の市場の小ささ、コーディネーター等の専門人材不足、新たな発想やウォンツといった時代を先取りする情報に触れる機会の少なさ等に対応するため、教育機関、産業界、産業支援機関、NPO等、地域の協働により産業を支える人材を確保・育成する。

### 魅力的な企業立地環境の実現

道路、港湾、空港等の基盤整備を有機的に結びつけ、臨海部産業エリアを形成するなど、広域的な人的交流を進め、魅力的な企業立地環境を実現する。

## 【四国内のトップシェア企業】

世界に誇れる12品種  
その他、多数存在

世界一・日本一	
徳島県	15 (2)
香川県	29 (3)
愛媛県	37 (5)
高知県	18 (2)

括弧書きは  
世界一の  
企業数



世界で活用される  
四国内企業の製品

## 【共同研究・受託研究合計実績】

機関名	件数
1 東京大学	1,935
2 京都大学	1,350
3 大阪大学	1,208
4 東北大学	1,110
5 九州大学	1,082
6 北海道大学	816
7 慶應義塾大学	717
8 名古屋大学	709
9 早稲田大学	665
10 東京工業大学	662
25 徳島大学	313
26 大阪市立大学	310
27 岩手大学	285
28 金沢大学	283
29 名古屋工業大学	282
30 新潟大学	278

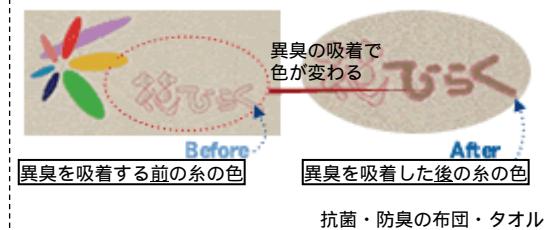
全国30位以内に  
入るのは  
徳島大学のみ

## 目的を達成するための取組(検討中)

### 世界市場等への事業展開に向けた広域的連携の推進

高い技術の連携による事業展開を図るため、ビジネスマッチング交流会等によって他圏域の産業ネットワーク・クラスターとの連携を促進

県内の産業連携によって生まれた技術（愛媛県の事例）

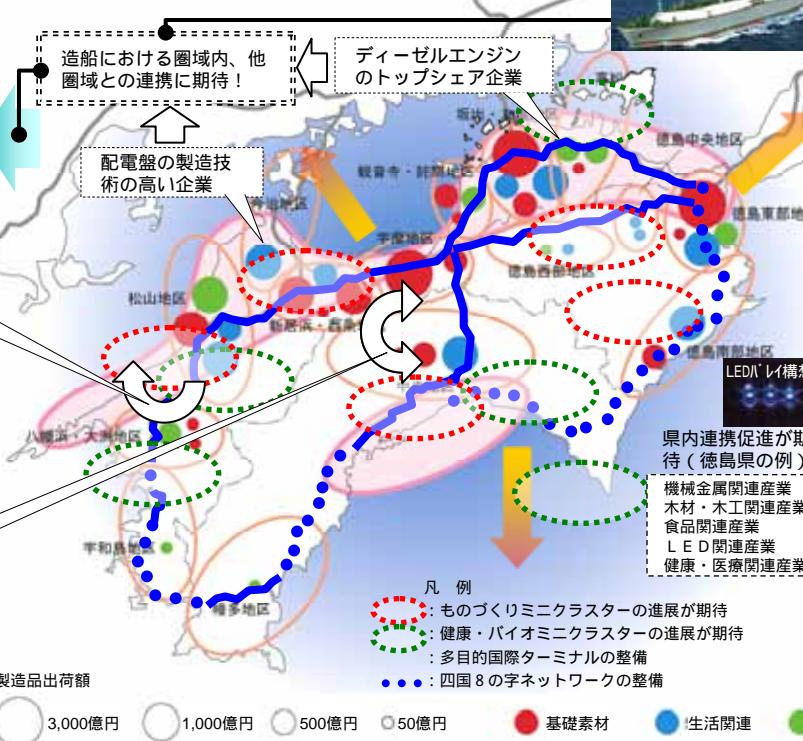


県境を越えた産業集積から生まれた技術（愛媛・高知の事例）

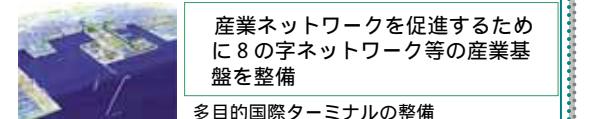
愛媛県・高知県の紙産業技術センターの集積によって、製紙技術、紙加工技術、不織布製造技術などは全国でもトップレベルの技術

研究会や交流会等のアライアンス機能を強化し、製品・技術等の交流を促進

### 【四国内の産業集積状況と今後の展開】



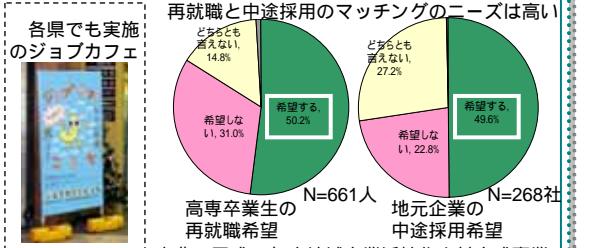
### 交流・連携を支える産業基盤整備



産業ネットワークを促進するため  
に8の字ネットワーク等の産業基盤を整備

多目的国際ターミナルの整備  
(愛媛県三島川之江港完成予想図)

### イノベーションを支える産業人材の確保・育成



出典：平成18年度地域産業活性化人材育成事業  
「地域若者支援調査」（四国生産性本部）

若者と企業のマッチングのためにジョブカフェ等の再就職支援を四国全体で進める

目標；地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国 / 多元的成長力を持つ産業集積を高める

### プロジェクトの目的・コンセプト

#### 地域の活性化及び安定的な食料生産

全国的に有名な地域資源を活用しつつ、圏域を支える産業の一つである農林水産業の競争力の強化を図り、地域の活性化と圏域内における安定的な食料生産につなげていく。

#### 国内外の市場における競争力強化

「四国の食」ブランドを確立し、国内市場における競争力の確保、「地産地消」の取組の積極的な推進、東アジアを中心とした国外市場への輸出強化を目指す。

食料関連産業拠点の育成・創出、生産・流通基盤の整備・保全、生産者支援  
食料関連産業の拠点の育成・創出、農林水産業の生産・流通基盤の整備・保全と生産者等への支援を進める。

#### 【認知度の高い四国の一次産品】



小豆島のオリーブ



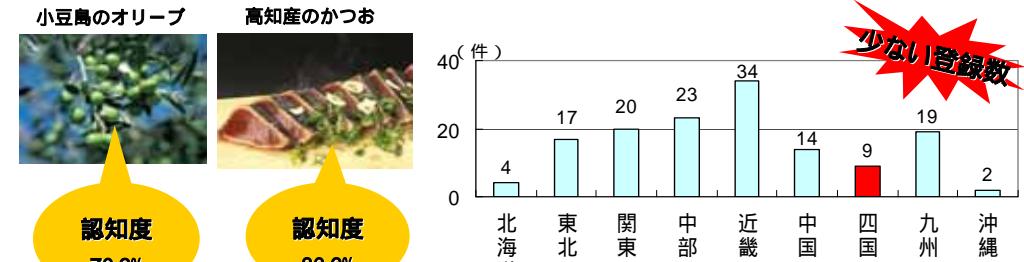
高知産のかつお

認知度  
70.2%

認知度  
80.6%

資料：四国経済連合会「四国外住民の認知度」  
(四国の一次産品に関するアンケート)

#### 【地域団体商標登録件数(農水産一次産品に関する件数)】



参考:徳島県(3件)、香川県(0件)<sup>1</sup>、愛媛県(3件)、高知県(3件)

資料:経済産業省 特許庁 地域団体商標2008(H20.6.1)  
( 1:H20.9.16に1件認定された為、現在は1件である。)

### 目的を達成するための取組(検討中)

#### 東アジアをはじめとする国内外の市場における競争力強化

四国4県で、地域団体商標登録の推進などにより、四国ブランド商品の確立及び品質管理の強化に取り組む

農・商・工連携による新たな取組を推進し、市場における競争力のある商品の供給につなげる

四国4県の連携のもと、四国ブランド商品の競争力強化に向け、東アジア及び大都市圏での販路拡大のため、プロモーション活動を積極的に仕掛ける

台湾で販売される徳島県「なると金時」



【農商工連携による事業活動促進(事例)】  
資料:経済産業省・農林水産省「農商工連携88選(H20)」

【四国の食のブランド(事例)】  
資料:四国経済連合会「ウェルカム四国」HP等

#### <東南アジア>安全な四国ブランドをPR!



西条市四国食品フェア  
(グルメシコク・タイ)



香川県産品フェア  
(マレーシア、シンガポール)

県独自開発の  
麺用小麦製品  
の普及・定着

地域団体商標に認定された  
「ひけた鮓」

香川県

#### 生産者への支援

四国4県連携のもと、グリーンツーリズム推進により、  
都市と農村の交流を促進

他圏域とも連携し、栽培技術  
や新品種改良等の技術開発を行  
い、生産性を向上

思いっきり四国！88  
癒しの旅キャンペーン



栽培技術の開発  
(マルドリ方式による  
高品質栽培の実施)

#### 供給拡大に向けた物流機能の強化と利便性の向上

高速道路の整備や複合一貫輸送ターミナルといった物流  
基盤整備を推進し、四国ブランド商品の流通を支える

複合一貫ターミナル(高知港三里地区)



高知県

阿波野菜を活用  
したお菓子の  
全国販売「蓮根の  
ムース」



生産日本一の地鶏  
「阿波尾鶏」



#### 環境保全と食文化の創出、安全 な食の品質向上

四国4県で、学校  
給食や農産物直売  
所(ふるさと市)  
における地産地  
消運動を展開



地域の方々とバイキング給食



目標；歴史・文化、風土を活かした個性ある地域づくりを進め、人をひきつける四国／美しい風土を形成し、地域の魅力を高める  
中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国／農山漁村（中山間地域等）の暮らしと環境を支える

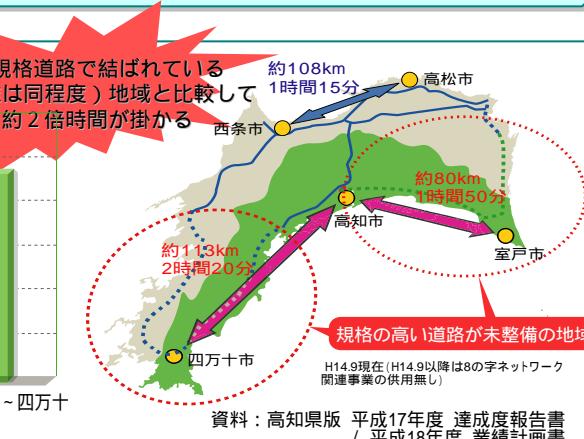
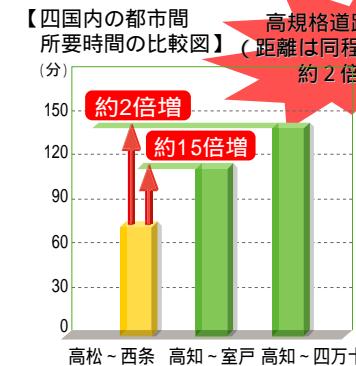
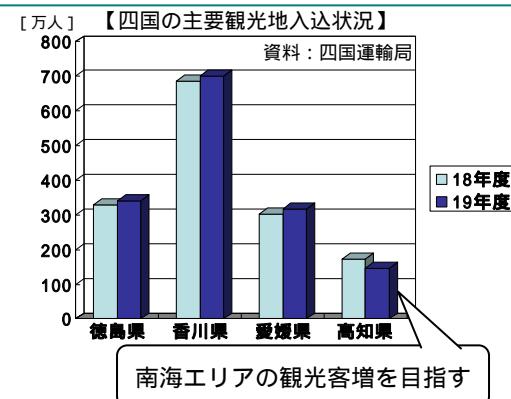
### 【プロジェクトの目的・コンセプト】

#### 輝きエリアの形成

太平洋側半島地域の豊富な水産資源や海洋資源のポテンシャルを最大限に発揮させて、特色ある地域づくりを進め、多様な人々との交流が生まれる“輝き”エリアの形成を目指す。

#### 太平洋側の特色を活かした交流拡大

地域資源を活用した新たな商品開発や産業強化等の取組の推進、地域ブランドとして情報発信するとともに、**太平洋側の特色を活かした交流拡大**に向けた取組を推進していく。



### 【目的を達成するための取組(検討中)】

#### 豊かな水産資源・海洋景観を活かした特色ある地域づくり

豊かな水産資源を活用した既存産業と商品の販売促進の強化・発展に取り組む

新たな商品の開発や加工技術・養殖技術の向上に取り組む

自然景観を活用した観光やマリンスポーツなど、海洋体験事業の誘致に取り組む

スポーツ施設や宿泊施設の充実、修学旅行の誘致、観光ルートの整備などを進める



#### 輝きをもった地域づくりのための基盤整備の推進

輝きのあるエリアの創出や交流拡大のため  
に、四国8の字ネットワークや各地での港  
の耐震化等を実施

#### 太平洋側半島地域を全国に情報発信

情報通信基盤の整備・充実等を推進し、黒潮の恵み等の特色を生かした情報を幅広く発信

広域観光パンフレット  
(四国西南地域)

移住促進型観光の取組  
(愛媛県南予地域)



# No.11 東アジアへのゲートウェイ機能の拡大・強化プロジェクト

目標；東アジアをはじめ、広域的に交流を深める四国／東アジア・世界との交流を活性化する

## プロジェクトの目的・コンセプト

### 地域の自立的な発展

東アジアへの近接性等の強みを活かして、既存の産業集積や地域資源の更なる充実・有効活用を図りつつ、東アジアの活力を直接取り込み、各地域が自立的に発展するとともに、東アジアの中で四国の存在感を高めていく。

### 人・もの・情報等の交流促進

東アジアを中心とする海外との直接的な人、もの、情報等の交流を促進する。特に港湾・空港においては、それぞれの地域特性を活かし、貨物等の輸送需要や流動状況を見据えつつ、広域的な連携、適切な役割分担の下、効率的な機能強化を推進し、港湾、空港等を結ぶ四国内の円滑な移動を確保するため、四国8の字ネットワークの整備等、基幹ネットワークを形成する。

### 【四国の生産・消費コンテナ貨物の東アジア向け貨物輸送の伸び】

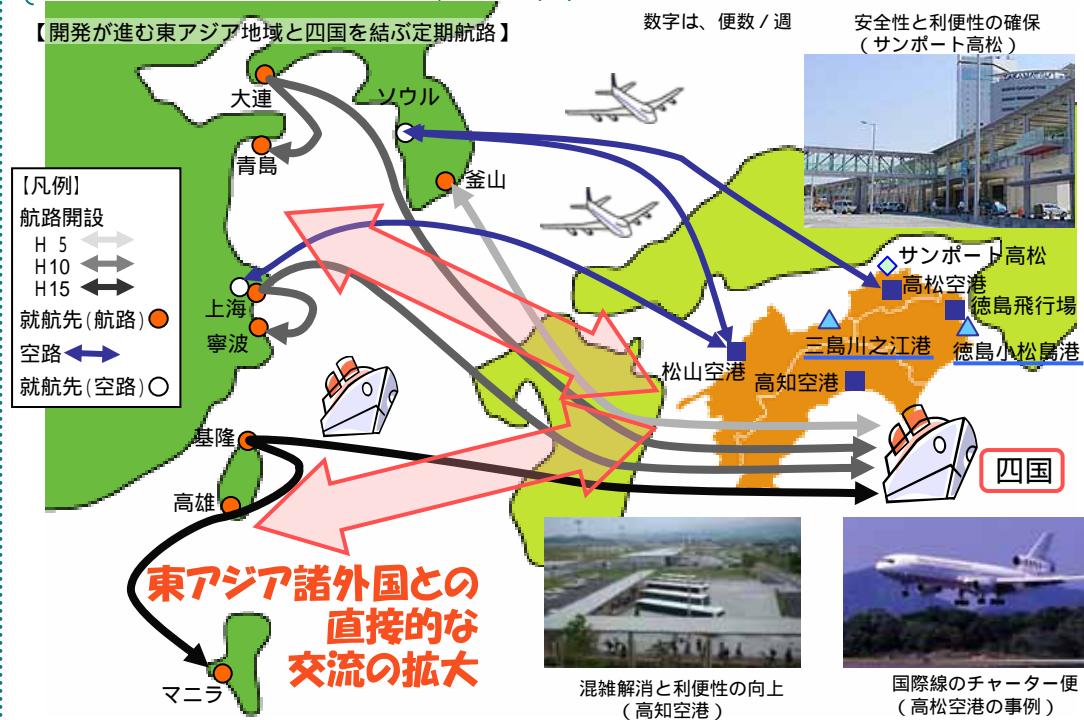


### 【四国の重要港湾入港外航商船の一隻あたり平均総トン数の推移】



## 目的を達成するための取組(検討中)

### 【開発が進む東アジア地域と四国を結ぶ定期航路】



### 国際ゲートウェイを担う港湾・空港等の機能強化



四国の主要産業に関わる物流コストの低減や物流効率の向上に取り組む

空港の機能の向上、維持、航空サービス高度化などにより、東アジア地域と四国を結ぶ国際線の利便性の向上を図る

多目的国際ターミナルの整備（三島川之江港）  
滞船解消の事例

### 高速交通ネットワーク等基幹ネットワークの形成

圏域内の連携を強めるため、四国8の字ネットワークの整備、港湾・空港からインターチェンジへのアクセス強化等を実施

### 東アジア等海外諸国との直接的な交流の拡大

四国各地の港湾・空港の施設整備により、外国人観光客の受け入れ体制を構築

官民や地元経済界が協力し、圏域連携のもと、国際航路の誘致・拡充やポートセーリング活動を実施



松山港ポートセミナー（開催地：東京都）

# No.12 「四国はひとつ」圏域内外交流・連携プロジェクト

目標；東アジアをはじめ、広域的に交流を深める四国／圏域内の交流を活性化する

## プロジェクトの目的・コンセプト

### 圏域内における交流の活性化

全国に比べ道路整備の水準が低い四国圏域では、交通ネットワーク等の強化及び道路情報提供サービスの充実等により、地域間における相互補完の関係を強化し、**圏域内の連携意識や一体感を高め、域内の交流の活性化**を図る。

### 活力と魅力ある四国圏の形成

伝統芸能の継承や文化・スポーツ振興への取り組みにより、**活力と魅力にあふれる四国圏を形成する。**

### 他圏域との交流・連携による四国圏域の活性化

他圏域との活発な交流を支援するため、本四架橋のより一層の効果的な利用方法の検討、各港湾・空港の機能強化等、広域的な交流体制の構築により、**他圏域との交流・連携の強化や四国圏域の活性化**を図る。

## 【各圏域の旅客・貨物流動】

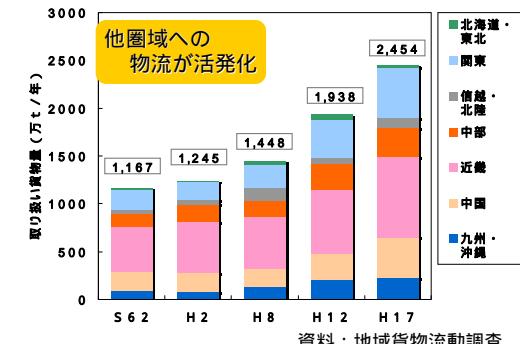
	人口1人当たり旅客流動 (旅客流動/人口)
四国	0.0160
東北	0.0159
北陸	0.0188
中国	0.0232
九州	0.0324
全国	0.0283

資料：第4回全国幹線旅客純流動調査(平成17年)

	人口1人当たり貨物流動 (貨物流動/人口)
四国	0.135トン/人
東北	0.182トン/人
北陸	0.156トン/人
中国	0.206トン/人
九州	0.166トン/人
全国	0.200トン/人

資料：第7回全国貨物純流動調査(物流センサス)(平成17年)

## 【四国発貨物の取扱量の変化(自動車)】



## 目的を達成するための取組(検討中)

### 交流を活性化する交通基盤の整備推進と交通環境の充実

圏域内外の広域的な交流を活性化するため、四国8の字ネットワークの整備や、地域特性に応じた道路整備により、道路ネットワークを強化

### 本四架橋のより一層の効果的な利用方法の検討

物流・人流の効率化による地域の活性化を図るために、内貿ターミナルの整備や、複合一貫輸送に対応した物流拠点の形成により、空港・港湾の機能を強化

### 公共交通・交通モード間の連携や、情報提供サービス・移動サービスの支援により交通環境を充実



四国8の字ネットワーク(整備)  
四国8の字ネットワーク(未整備)  
本州四国連絡道路等  
空港  
港湾



### 文化・スポーツ振興などによる交流促進

圏域内の連帯感・一体感を高めるため、遍路等の文化と地域に密着したスポーツの振興により、四国圏のアイデンティティを向上



### 【四国・九州アーランドリーグ】

## 他圏域との交流のための地域の受け入れ体制の整備

広域的な交流体制を構築するため、交流・滞在・定住に必要な地域受け入れ体制を整備



# No.13 中山間地域等活性化プロジェクト

目標；中山間地域・半島部・島しょ部等や都市が補完しあい活力あふれる四国／農山漁村（中山間地域等）の暮らしと環境を支える

## プロジェクトの目的・コンセプト

### 地域活性化につながる活発な取り組み展開

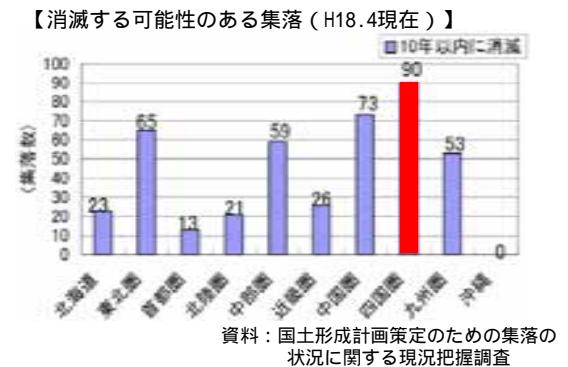
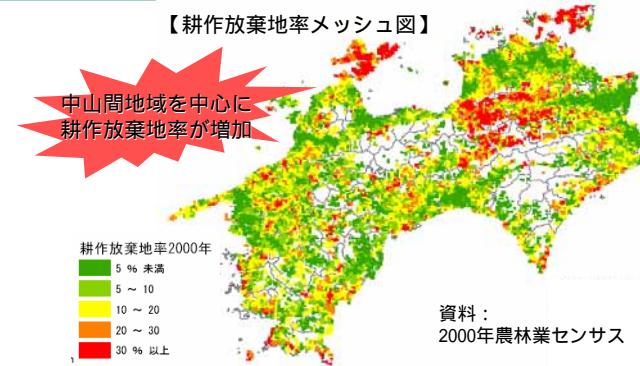
土砂災害等の防止等安全で安心できる生活環境づくりや地域ぐるみの活動の支援、日常生活の利便性の確保により、住んでいる人が元気になり、地域活性化につながる取組が活発に営まれる地域づくりを目指す。

### 地域外活力の積極的な取り込み

地域資源を活かしたビジネスチャンスの拡大に努め、地域外からの活力を取り込む。

### 交流・連携につながる農林水産業の活性化

農林水産業の活性化や、都市と中山間地域の距離的近接性・優位性を活かした交流・連携の強化のための取組を推進する。



## 目的を達成するための取組(検討中)

### 地域資源を活かしたビジネスチャンスの拡大

地域資源を活用・再発見し、ビジネス展開につなげるため、学習の場の提供や4県の連携による情報提供を実施



四国地域資源活用ハンドブック  
(四国経済産業局)

#### 【四国の元気活動】

- 主な元気活動
- 四国8の字ネットワーク(整備)
- 四国8の字ネットワーク(未整備)

老若人口割合(2005年)

- ~10%
- 11%~20%
- 21%~30%
- 31%~40%
- 41%~



### 安全で安心できる生活環境づくり

安全で安心できる地域づくりのため、道路網の充実、砂防事業・地すべり対策等により生活基盤を確保



自動車を利用できない住民の移動を支えるため、地域の実情に応じた公共交通サービスの維持・向上に取り組む



安全で安心できる環境を構築するため、身近な医師の確保、ケーブルテレビ網など高度情報通信基盤の整備に取り組む



### 都市と農山漁村の交流の促進

交流居住を支える環境整備として、ワンストップ情報提供サービスの構築



【田舎暮らしワンストップ情報サイト】  
(高知県)

### 中山間地域等の経済活動の基盤となる農林水産業の活性化

農山村の適切な環境保全や活性化に向けて、棚田オーナー制度の支援、地場農産物等の加工・販売を実施



千枚田  
オーナー制度  
(高知県梼原町)



**連携テーマ(案)**

- 広域観光・インバウンド観光の推進
- 産業集積地間の連携による国際的な産業拠点形成
- 瀬戸内海の環境保全と修復
- 暮らしの安全・防災ネットワークの整備
- 広域交通ネットワークの連携促進

# 広域観光、インバウンド観光の推進

## 背景・他圏域との連携の方針

### 美しい自然風景、豊かな地域資源、独自の文化の存在

他圏域と共有する瀬戸内海は、風光明媚な多島美や変化に富んだ景観を有し、沿岸には数多くの地域資源が存在しているほか、圏域には四国遍路等の信仰文化や「お接待の心」が根付いている。

### 東アジア等をターゲットとしたインバウンド誘致の活発化

東アジアの経済成長によるインバウンドの拡大が予想される中で、近畿圏や九州圏では既に東アジアからのインバウンド誘致を進めており、地域間競争の様相を呈している。

圏域のポテンシャルを活かし、地域間連携を通じて観光地の魅力と集客力を相乗的に高めるため、特徴的なテーマを持った広域観光ネットワークの形成・強化を図る。

四国圏でも独自のインバウンド誘致に努めると同時に、他圏域との連携により、東アジア等をターゲットとしたインバウンド観光の推進や観光客受け入れ態勢の整備を図る。

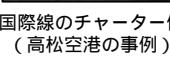
## 他圏域との連携による取組(検討中)

### 東アジア等をターゲットとしたインバウンド観光の推進

台湾からのプログラムチャーター便(高松・岡山・米子・鳥取との共同運行)



上海からのプログラムチャーター便(松山・広島との共同運行)



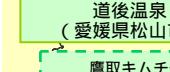
### 観光客受け入れ態勢の整備

四国圏～他圏域を結ぶ都市間バス・フェリーの乗継割引等の導入に向けた検討

外国人観光客向け接客マニュアルの共有化やウェルカムセミナーの共同開催の実施



外国人観光客おもてなし入門(四国運輸局)



### 広域観光ネットワークの形成・強化

瀬戸内海沿岸の連携による国内クルーズの誘致や海外クルーズの外国客船寄港誘致

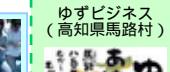
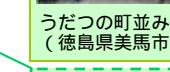
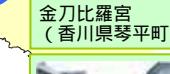


クルーズのイメージ

### 四国圏独自のインバウンド誘致

瀬戸内海の歴史・文化資源と四国圏の歴史的まち並み・四国霊場八十八箇所等との連携による巡回型観光ルートの設定

四国圏の農林水産品等を活かした両圏域にまたがるスローツーリズムの実施



- 瀬戸内海クルーズ
- 国際便(定期便)
- プログラムチャーター便
- 瀬戸内海フィールドミュージアム
- 四国霊場八十八箇所巡り
- 歴史的まち並み巡り
- 地域ブランド(太平洋沿岸)
- 地域ブランド(中山間地域)

# 産業集積地間の連携による国際的な産業拠点形成

## 背景・他圏域との連携の方針

### 恵まれた地理的特性等を活かした産業集積

海上輸送に恵まれた地理的特性等を活かして、化学工業、パルプ・紙・紙加工品製造業等の基礎素材型産業や船舶製造業等の加工組立型産業が集積し、中国圏とともに瀬戸内工業地域を形成している。

### 世界的シェアを有する先端素材型産業の存在

炭素繊維や電子機器関連素材など世界的シェアを有する先端素材型産業が存在し、先端の技術シーズに関する研究開発が進んでいる。

国際化の進展に伴う競争力の発揮に向け、瀬戸内海の沿岸域を  
一的な産業集積地とする。

産業ネットワークや研究開発の連携等により、瀬戸内海沿岸域  
の経済波及を高め、密接な連携関係を構築する。

## 他圏域との連携による取組(検討中)

### 瀬戸内海における静脈物流の推進



三島川之江港  
リサイクルポート  
三島川之江港を四国圏のリサイクル拠点  
とし、瀬戸内海沿岸  
での広域的受け入れ・再資源化の推進

徳山下松港・宇部港等との連携による瀬戸内  
海の静脈物流ネットワークの形成



### 造船産業ゾーンの形成に向けた取組



広島県備後地区等と連携し、VLCC（大型原油タンカー）等の開発に対応するサプライチェーン強化や人材育成の促進

静かな海域を活かしたメガフロート等の開発に資する技術交流・連携の促進



### 紙産業の集積と新たな事業展開



四国圏の紙・パルプ・紙加工品製造業と山口県岩国地区の製紙企業と連携し、技術や知見を共有化



愛媛県・高知県の次世代紙素材クラスターを通じた新たな事業展開

非織布を利用した商品（掃除クロス）の開発

### 次世代情報デバイス分野への事業展開



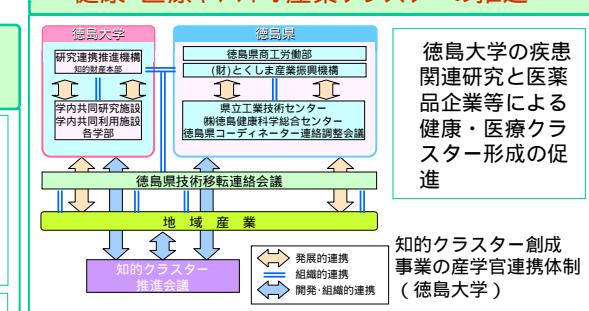
高知県内で進められている薄型ナノ技術を活用した次世代情報デバイス分野への事業展開

他圏域の研究開発と連携し、FPDを軸とするコミュニケーションの緊密化や新たな事業領域発掘に向けた取組の促進

### 健康・医療やバイオ産業クラスターの推進



徳島県内において、LED関連企業の研究所や工場等の集積と、高度技術者の育成や研究開発拠点等の整備によるLEDを利用した光産業の集積



関西バイオ推進会議への参加を通じた先端的バイオ産業クラスター創成に向けた取組の促進

# 瀬戸内海の環境保全と修復

## 背景・他圏域との連携の方針

### 生物の生息・繁殖の場である浅場の消失や水質改善の停滞

瀬戸内海は、多様な生物の生息・繁殖の場である干潟や藻場が消失しつつあり、水質汚濁や富栄養化による影響は長期的には改善方向にあるものの、近年は水質改善が停滞している。

### 市町村等の協働による海ゴミ問題解決の動き

瀬戸内海では、大量の海ゴミ対策が課題となっているが、沿岸市町村や府県による美化活動などが展開されているほか、海ゴミ問題を共同で解決しようとする動きがある。

瀬戸内海を豊かな生活や交流の基盤として活用するため、瀬戸内海沿岸のクリーンアップ活動を推進する。

瀬戸内海の環境保全、水産資源保護、環境修復のため、研究拠点の形成や、保全・修復のための多様な活動を広域で展開する。

## 他圏域との連携による取組(検討中)

### 環境保全と修復のための多様な活動の実施

公設試験研究機関・大学・NPO等による情報共有や共同研究の実施による環境修復の研究拠点形成

- 瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会(海ネット)
- 瀬戸内海海ごみ対策検討会
- 環境保全・修復に関する情報共有や共同研究
- 四国圏・中国圏の公設試験研究機関・大学・NPO等
- 環境修復の研究拠点形成イメージ

「瀬戸内海環境修復計画」に基づき、様々な主体の連携・住民参加・協働による浅場の計画的な修復



出前講座・環境学習・現場見学会等を通じた環境保全や修復に関する事業・施策の紹介



### 瀬戸内海沿岸の清掃活動や漂流・海底ゴミの回収・処理活動の継続実施

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の主催による瀬戸内海沿岸の清掃活動（「リフレッシュ瀬戸内」活動）の継続実施、「海の健康診断調査」の実施



海面清掃船による漂流ゴミ・油の回収活動（海洋環境整備事業）の継続実施



行政・住民・漁業者の連携による海底ゴミの回収・処理等のシステムの構築

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」会員市町村（平成19年7月1日現在）

# 暮らしの安全・防災ネットワークの整備

## 背景・他圏域との連携の方針

### 大規模災害時における海上交通を活用した救援活動の実施

阪神淡路大震災の際、陸上交通網の遮断に対して港を活用した海上交通で救助隊や救援物資の輸送を行っており、広域的な防災への取組においては、この経験を活かすことが望まれる。

### 離島住民に対する地域医療サービスの確保

瀬戸内海や豊後水道の離島では、住民の高齢化や人口減少が進行する中で、医療機関へのアクセスが不便な状況にあるが、診療船等により離島住民に対する医療サービスの確保が図られている。

大規模災害の発生に対して、海上交通を活用した応援・救援体制の連携や広域防災拠点ネットワークの形成等を推進するとともに、広域的な相互救護活動の円滑化を図る。

離島住民の暮らしの安全を確保するため、診療船等の活動を引き続き促進するとともに、広域的な遠隔医療体制の展開や広域救急医療体制の構築を図る。

## 他圏域との連携による取組(検討中)

### 広域防災拠点ネットワークの形成

港湾区域のオープンスペース等を活かして救援物資・人材支援・災害医療支援等の機能を配備した広域防災拠点の整備

### 海上交通を活用した応援・救援体制の連携

瀬戸内海沿岸の広域防災拠点を結び、大量の救援物資や支援部隊を輸送する海上交通ネットワークの構築

### 広域的な相互救援活動の円滑化

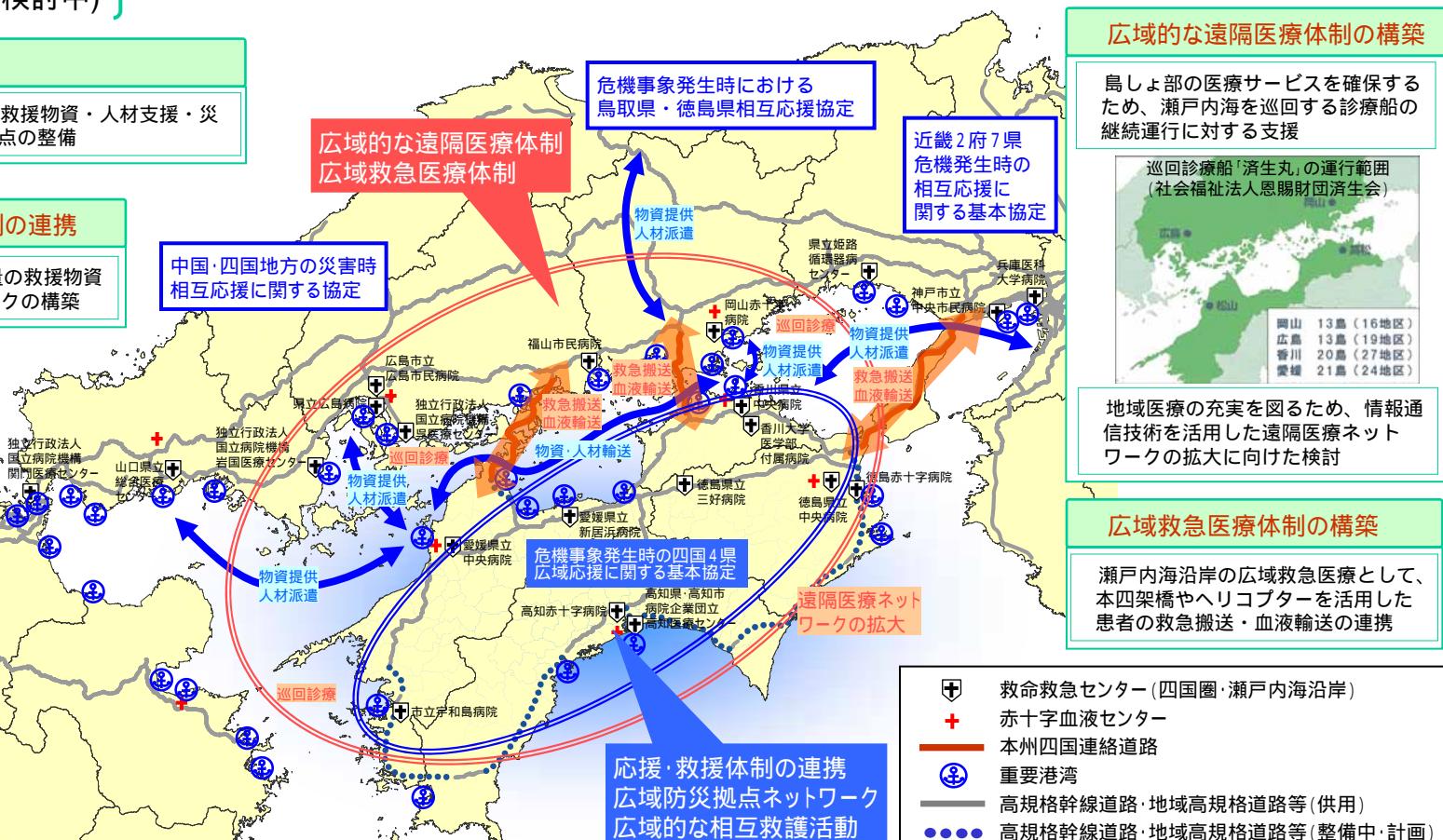
他圏域との連携による広域防災情報システムネットワークの構築

相互応援協定を踏まえ、関係機関との連携による広域的な防災訓練の実施



平成20年度 総合防災訓練(四国地方整備局)

相互応援協定を踏まえ、防災対応のノウハウを備えた専門的な人材育成等の共同実施



## 広域交通ネットワークの連携促進

## 背景・他圏域との連携の方針

## 本四架橋や高速道路の一層の利用拡大

四国圏は、これまで交通アクセスや時間コストは不利な状況であったが、本四架橋の整備や高速道路の急速な進捗により多様な交流が進展し、一層の利用拡大が求められている。

## 東アジアの活力を取り込んだ国際競争力の向上

東アジアの急激な経済成長のダイナミズムを四国圏の活力に取り込むことが求められており、四国圏の国際競争力を高める上で、港湾物流の大型化や国際物流に対応した物流環境の整備、圏域内の道路交通ネットワークの充実が課題である。

観光交流の拡大や物流の効率化、産業交流の新たな展開などによる四国圏の成長力の強化に向けて、本四架橋の利用拡大による地域活性化を図る。

国際交通ネットワークの確立に向けて、圏域内外の主要港湾・空港との役割分担を踏まえた物流基盤の整備や、太平洋から日本海までの南北軸の強化による交流の新たな展開・拡大を図る。

### 他圏域との連携による取組(検討中)

## 港湾物流の大型化に対応した物流基盤の整備

## 大型船舶に対応した岸壁の整備や多目的国際ターミナルの整備推進



## フェリーを活用したモーダルシフト施策の実施によるグリーン物流の実現

備讃瀬戸航路や来島海峡航路における航行の監視や安全な航行の援助

海洋環境や航行規制等に配慮した開発  
保全航路の拡幅や増深等の実施

## 太平洋側の物流環境の改善

## 国内物流・複合一貫輸送ターミナルの整備推進

コンテナ貨物等の輸送に対応したアクヤス道路等の整備推進

## 本四架橋を活用した地域活性化

### 「瀬戸内しまなみ海道振興協議会」による体験・交流イベント等の継続実施

